

J A U W

発行所 東京都新宿区左門町11番地6の101
〒160-0017
社団法人 大学女性協会
電話 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
E-mail:jauw@jauw.org
発行人 房野 桂
編集責任者 端本 和子

おもな記事

- 1面 会長挨拶、第52回通常総会案内、守田科学研究奨励賞について
- 2面～3面 2008年度国内奨学金贈呈式・研究発表概要、特別委員会報告
- 4面 支部だより(静岡・岡山)、第8回自然科学講演会、理事会から、ほか

第52回通常総会ご案内

立春の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、第52回通常総会が新潟市で開催されることになりました。日程等は下記のとおりです。どうぞお誘い合わせの上、多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

1. 総会関係 (会場: ANAクラウンプラザホテル新潟)

月 日	会 合	時 間	会 場	費 用
5月9日 (土)	臨時理事会	13:00~13:30	3階 「飛翔」	
	評議員会	13:30~15:30		
	支部長懇談会	15:30~17:00		
5月10日 (日)	懇親会	18:00~20:30	3階 「飛翔」	会費8,000円
	総会	9:00~16:00	3階 「飛翔」	総会費3,000円 昼食代3,000円

※懇親会には下記の出演を予定しています。
「最後の警女」小林ハル (故人、人間国宝) の弟子萱森直子さんによる警女唄の演奏

2. 宿 泊 ANAクラウンプラザホテル新潟

〒950-8531 新潟県新潟市中央区万代5-11-20
TEL 025-245-3333
FAX 025-243-0493
宿泊販売 roomrsv@anacrownplaza-niigata.jp
チェックイン 14:00 チェックアウト 11:00
交 通 詳細は申込書などとともに配布します。
JR利用の場合
★JR新潟駅万代口より徒歩約10分、タクシーで約5分
航空機利用の場合
★空港バスで新潟駅万代口まで来てから、徒歩またはタクシーを利用
★空港よりタクシーで約30分
宿泊料金 5月8日(金) } 1泊 シングル9,450円・ツイン16,800円 (朝食つき税別)
9日(土) }
10日(日) }

*ホテル申し込みおよび支払いは、各自で行ってください。
*ご予約の場合は必ず大学女性協会とお伝えください。

ホームページ www.anacrownplaza-niigata.jp

3. 見学会 (バスツアー)

食と花と緑の政令指定都市新潟。豪農の館北方文化博物館と越乃寒梅蔵元の石本酒造をご案内いたします。
日 程 5月11日(月)8時30分 ANAクラウンプラザホテル新潟出発
新潟空港→新潟駅16時到着予定
コ ー ス ホテル→みなとびあ (新潟市歴史博物館)→中央卸売市場 (バスの中から見学)
→石本酒造 (越乃寒梅蔵元)→北方文化博物館 (昼食)→新潟空港→新潟駅
参加費 7,000円
参加申し込みが25名以上50名までで実施いたします。

4. 申し込み方法

1) 申込書に必要事項をご記入のうえ、「支部提出用」は各支部へ提出。「個人控え用」は総会当日に各自ご持参ください。各支部で出席者をとりまとめ、「支部出席者とりまとめ用紙」にご記入のうえ、3月31日(火)までに下記へお送りください。

〒950-2111 新潟市西区大学南1-6693-6 仲川幸子方
「第52回通常総会」係
TEL: 025-261-0512
FAX: 025-261-0512

2) 費用(総会費・懇親会費・昼食代・見学会費)は、4月10日(金)までに、郵便振替用紙で個人別にお振込みください。

振込先 口座番号 00640-8-4146
口座名称 大学女性協会新潟支部

3) 総会・懇親会・見学会のキャンセル受付は4月30日(木)までとします。
総会費3,000円はキャンセルの日時に関係なく返却できませんのでご了承ください。

ご不明の点がございましたら下記へお問い合わせください。

〒950-2044 新潟市西区坂井砂山2-7-24
TEL: 025-260-1053

第52回通常総会実行委員長 宮山 彌生

年頭のごあいさつ

会長 房野 桂

謹賀新年。今年度も、一般奨学生5名、ホームズ奨学生1名、安井医学奨学生1名、社会福祉奨学生3名の計10名の奨学生が11月の理事会で承認された。国際奨学生2名はすでに選ばれている。この奨学事業は、守田科学研究奨励事業や調査研究活動と並んで、JAUWが誇る事業である。

去る12月故守田純子氏の遺言執行人である林英昭氏が事務所を訪ねて来られ、第3回目の遺言執行として新たに1千万円の小切手を頂戴した。第1回目の遺贈金1500万円(1997年)、第2回目の1千万円(1999年)と合わせて、計3500万円を頂戴したことになる。1946年に、アメリカ大学婦人協会(AAUW)日本支部を発展的に解消して、さらに有力なJACAが生まれた。

設立当時の会員は、異大学の女子卒業生及び将来女子大学となる可能性のある一流女子専門学校8校の卒業生46名であり、目的は我が国女子教育の向上と当時は「万国大学婦人連盟」と呼んでいたIFUWへの加盟であった。

JACAは、設立翌年の1947年に第1回総会を開いたが、この頃には、加盟大学にさらに1校が加わって、会員も788名に増えていた。JACAが第1回総会でまず行ったのが奨学金委員会の設立であった。そして1948年の第2回総会で4名の学生に総額12000円の奨学金を授与している。

ちなみに当時の年会費は10円であった。JACAがJAUWと名称変更したのは1949年であり、年会費を一挙に70円に値上げして、この年には学生16名と研究学徒3名に総額11万円の奨学金を授与している。

JAUWが、念願のIFUW加盟を認められたのは1954年のことであったが、当協会が当初から奨学金事業にこの

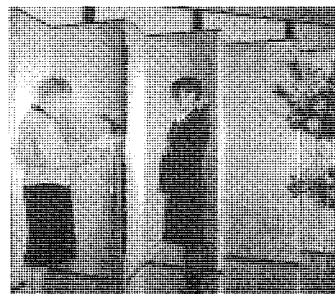
ような力を入れてきたのは、IFUWの影響であったことは間違いない。IFUWの奨学事業のはじまりについては、2007年発行の『IFUW・JAUW関係資料集』の8頁から9頁にあるのでお読みいただきたい。

会員の年会費が1946年の10円に始まって、1966年の1000円に至るまでの間に、どうやって奨学金のためのお金を捻出したのかを知るのには興味深い。JAUWは、この間に5回ダンスパーティーを開き、ヴァイオリン・コンサート独唱会なども開かれた。

歌ったり踊ったりしながら奨学金を捻出していたような感があるが、1953年には奨学金のための募金も行われた。また、1990年には故安井潤氏の姪御さんに当たる会員の安井医学奨学金へのご寄付もあり、JAUWの国内奨学事業は多くの方々の善意に支えられてきた。委員会は、このことを深く心して奨学生や奨励賞の選考に当たらなければならぬ。

国内奨学金贈呈式1月10日(土) 京王プラザホテルにて

写真 房野会長から奨学金を贈呈される社会福祉奨学生の平塚恵里子さん



房野会長を囲んで

守田科学研究奨励賞設立のいきさつと成果

科学研究奨励委員会委員長 岩村 道子

11月18日に、故守田純子氏の遺言執行人でご実弟の林英昭氏より、房野会長、島元科学研究奨励委員長らの立会いのもと第3回目の遺贈金が大学女性協会に贈与されました。この機会に、守田科学研究奨励賞のなりたちとこれまでの経緯についてご報告いたします。

1997年に、神奈川学園で教鞭をとられた故守田純子氏から自然科学を専門とする女性科学者の育成のためにと1500万円が遺贈されました。この遺贈金の用途について、科学研究費として国内奨学金へ繰り入れることなどが理事会で検討されましたが、当時の丸山庸子会長、国内奨学委員長らの提案により、若手女性研究者奨励のための賞の設置が決定されました。この賞は、大学・研究所に勤務する女性研究者にとり最初のポストからの昇格が困難な場合が多いことを勘案して、地位の向上を後押しすることも目的としておりました。

翌1998年4月に守田研究奨励賞選考委員会が発足し、初代委員長として島美喜子氏が就

任されて、賞の応募規定の整備がおこなわれ、第1回応募者募集が開始されました。守田氏とお茶大化学科で同級生の丸山元会長、神奈川学園での教え子で猿橋賞受賞者の大野諒元東京工業大学教授が、委員会発足時より委員として参加して、ご遺族との連絡などにもご配慮くださっております。この委員会は当初、国内奨学委員会内に設置されておりましたが、1999年に科学研究奨励委員会として独立いたしました。

守田賞応募者募集の対象は、自然科学分野において優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満の女性科学者であります。これまでに10回、20名の研究者に賞が贈呈されました。受賞者のうち多数の方が、受賞を機会に昇格を実現され、また、研究も大きく発展されたと伺っております。この賞の当初からの目的が充分達成されていることが明らかです。

守田氏からは、1999年に第2回目、そして今回3回目としてそれぞれ1000万円を遺贈金として頂戴いたしました。これまでの遺贈金使用の経緯から推測いたしますと、今後10年以上の守田賞授与が可能で、これを契機に、委員会としても賞の権威を維持できるように検討を重ねて、女性研究者の発展に寄与してゆきたいと存じます。

二〇〇八年度国内奨学金贈呈式

2009年1月10日(土) 前日の雨も上がり晴れ渡った空のもと、京王プラザホテル「花」の間で2008年度国内奨学金贈呈式が行われた。今年度の奨学生は10名(大学院生8名、学部生2名)、学部長は7名出席し、奨学金贈呈へのお礼と感謝の気持ちと研究に対する真摯なスピリットが参加者の心を打った。

選考と結果

第61回 一般奨学生

第18回 安井医学奨学生

国内奨学委員長
上野 郁子

本年度も国内奨学生として一般奨学生6名、うち1名はホームズ奨学生、安井医学奨学生1名、社会福祉奨学生3名を募集しました。6月上旬に東京都、埼玉県、千葉県内の諸大学と琉球大学の計69大学の学長と26の支部長宛に募集要項を送付し応募を依頼しましたところ、9月の締め切りで、応募者数は「一般の部」

43名、「安井医学の部」8名でありました。10月26日に房野桂会長出席のもと選考委員会を開催し、一般の部32名(本部18名、支部14名)、安井医学の部7名(本部3名、支部4名)から、別記の7名の奨学生を推薦し、11月1日の理事会で承認されました。「一般の部」の応募者の研究課題では、理化学的手法によって、地球上の自然現象を解析・理解・保全することを目的としたもの、環境に適した新規物質を作ることとを目的としたもの、色彩バリエーションの観点にたつ色弱補正を目的とした研究、など計7題、人文科学、社会科学の立場にたつて文化や社会活動(教育、社会、情報、経済)を解析しようとするもの計25題に大別

されました。いずれも従来の理科・文科の枠に囚われない広範な視野にたつユニークで高度なものばかりでしたが、今回は以下の6名の方々の研究を選定いたしました。

自然環境に関する研究として、野村麗子さんの宇宙を発生源とする地磁気脈動現象を地上の多地点で観測し、解明しようという宇宙規模の研究、矢澤佳子さんと森美由貴さんの地球上の熱帯樹林や海中の植物・動物の生態、多様性とその地球環境での役割の調査研究、中野由美子さんの水溶性の合成ポリマーを基本構造とした環境保全に役立つ新規複合体の作成、これらは、いずれも宇宙の中の地球という認識の上に立っています。人文科学の分野では、大井奈美さんの俳句を題材にした研究を選びました。

この課題では、俳句という簡潔な定型詩を基礎情報学という新しい分野の科学的観点から解析することによって、芸術分野の認識過程とそれにかかわる社会的要因を明らかにしようとするユニークな研究と受け止めました。ホームズ奨学生としては

第37回 社会福祉奨学生

社会福祉委員長
縄田眞紀子

社会福祉委員会は、国内将学委員会とともに、本年度初めより奨学生募集の準備を始め、各大学学長および各支部長宛に奨学生候補者の推薦をお願いしました。その結果、大学院生1名、学部生2名の応募がありました。応募が少なかったことは残念な結果でした。10月18日、房野桂会長出席のもと、選考委員会を開催。委員会に先立ち各委員は応募者の書類を検討し、各自の評価表を作成して委員会に臨み、学業成績、研究内容、人物評価、将来への展望、障害の状況などを考慮して慎重に審議を行い、大学院生1名、学部生2名を候補者として選び、11月理事会において承認を受けました。

伊集院葉子さんを選ばせていただきました。この方の研究課題からは、現在のわが国における女性の各種の差別問題を法律国家機構の形成時にまで遡って、古代社会から現代に至る政治機構の変遷の中の女性の取り扱われ方という観点から明らかにしようとする意志が感じられ、この奨学金贈呈にふさわしいと考えました。

「安井医学奨学金」は医師故安井潤氏の遺族(本協会会員)の寄付にもとづくものですが、本年度の応募者7名の研究課題をみますと、奨学生となられる和田安代さんはじめ、いずれも医学部以外の生命科学研究に励んでいる方々でありまして、現在の医学がこのような広範囲な生命科学の研究によって支えられ発展していることを示すとともに、この分野への女性の進出をあらわしています。

学部生の福重佑美さんは、社会福祉学を専攻、障害児福祉に興味を持ち、社会福祉士・精神保健福祉士の資格を目指し、卒業後は援助する側・される側の両方を理解できる立場だからこそできる「障害児の支援」を希望しています。学外の様々なボランティア活動にも参加し障害児・者の支援の一端に関わることで実践の面についても学修を深めていると推薦されました。

提出論文概要と将来の希望

一般奨学生

中緯度からサブオーロラ帯におけるPc1地磁気脈動の地上多点観測

名古屋大学大学院
野村 麗子

私が所属する名古屋大学一進める中で、4カ所の観測地点に設置する誘導磁気力計の校正実験、設置、メンテナンスとデータ解析を行ってまいりました。誘導磁気力計は、ロシア極東域のマガダン、カムチャツカ半島のパラツンカ、北海道の母子里、鹿児島県文のテーマとして、誘導磁気力計による中緯度のPc1地磁気脈動の多点観測に取り組みしています。Pc1地磁気脈動は、宇宙空間で発生・伝搬し地上で観測される地磁気の振動現象で、宇宙空間と地上付近の間での相互作用が注目されるなか、重要な役割を果たすと考えられます。

の衰退に伴う生物多様性の減少が懸念されている。森林の衰退を防ぎ保全又は持続的な森林施業の手法を確立するために、野外調査に基づいて多くの樹木種の共存メカニズムを把握し、さらにその成果を基に森林動態をシミュレートすることが必要である。

これまで、私は樹木の生活史のフレームワークである樹形に着目し、種レベルでの把握を試みてきた。これらの成果は、近年までに蓄積されたデータを有効利用し、熱帯林動態の再現するために重要な知見である。しかし、動的なプロセスを把握するためには、種レベルからスケールダウンした個体レベルの挙動およびスケールアップした森林構造を階層的に定量的に把握する必要がある。博士課程でその解明を目指す。

現在、私はマレー半島で地元研究機関及び海外の大学等と共同で調査を行っている。本研究成果は国際プロジェクトに提供され、森林管理計画ツールに応用される。研究成果は学術的な貢献のみならず、森林の持続的な維持・管理に適用し、国民に還元されるべきものである。

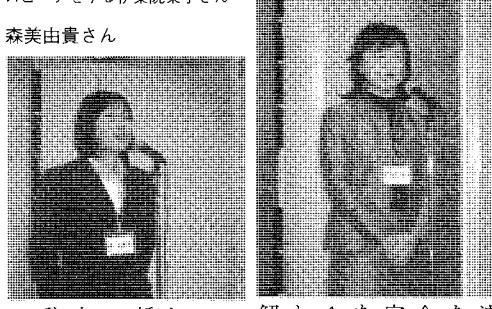
私は多くの人々と協力し合い、これらの研究成果が今後のマレーシアの熱帯林の保全、管理を行う上で大きな役割を果たし、さらにアジア全体の森林へと還元されることを強く望んでいる。

これから望まれる複合材料をめざして

奈良女子大学大学院
中野由美子

合成高分子の中でも特に異な水溶性、さらに生体適合性、生分解性を有する環境対応型ポリマーであるポリビニルアルコール(PVA)に着目し、他の高分子や材料と複合化する分子や材料によって、機能複合材料の作成と、その構造と物性について研究を行っています。

主な研究内容は、
①生分解性ポリマーであるキトサンの難延伸性をPVAとブレンドすることで改善した延伸フィルムを作成し、その構造と物性の変化について検討しています。
②PVAのゲル化機構を応用し、炭素繊維(CF)含有PVA溶液を磁場印加しながらゲル化させ、膜面に対して垂直にCFが配列した複合材料の作成を試み、さ



スピーチをする伊集院葉子さん→
森美由貴さん

樹木の形からみた熱帯林の三次元動態の解明

北海道大学大学院
矢澤 佳子

近年、商業伐採などの現象による熱帯林の衰退が生じており、森林

特別委員会報告

委員長 海老根 静江

会員の皆様ご承知のように、12月1日、「大学女性協会」は他の公益法人と共に「特例民法法人」になりました。ただし「特例民法法人」の間、従来どおり「社団法人」を名乗ることが出来、また文部科学省生涯学習局男女共同参画学習課所管公益法人として「法人概況調査」や「法人実地調査(定期検査)」を受けることになり、12月3日には文部科学省開催の「新公益法人制度に関する説明会」がありました。

前回の説明会(8月)が今回の制度改革の全体像についてであったのに対して、今回は「移行認定」、「移行認可」、「公益目的事業」、「定款変更案の作成について」などの資料が渡され、「特例民法法人」が過渡的なもの

であることを実感しました。

総会では2010年夏から秋にかけて「公益法人認定」の申請をするとしており、特別委員会はそれをめどにスケジュールを確認しながら作業を進めています。

これからの各種変更は私たちが行ってきた活動を否定的に変えるのではなく、さらに活かしていくものでなければなりません、乗り越えるべきいくつかの問題があり、本部と支部の会計一本化もその一つです。これまでの経過を直接お伝えし、特に本部と支部の問題を協議するために、1月10日の「新春のつどい」のあとに臨時評議員会が開かれ、寒くて多忙な時期に、25支部の支部長さんが都合をつけて参加して下さり有難いことでした。

IFUW加盟団体として国際的な活動を行うと共に、日本各地で活動する27の支部を持つという当協会のユニークな性格をさらに生かしていけるような改革になることを願って理事会、総会で討議いただくための案の作成に励んでいます。

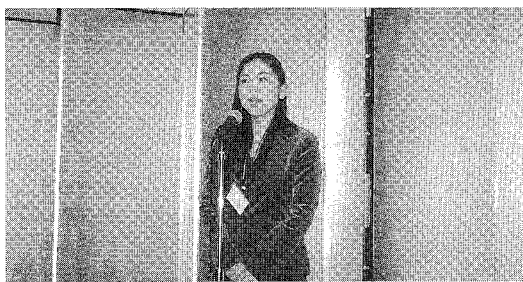
クラゲノミミの群集構造解明 —生物多様性保全へ向けて

横浜市立大学大学院 森 美由貴

現在私は、(独)海洋研究開発機構に研究生として受け入れていただき、クラゲノミミ類の形態・生態・生活史・繁殖・共生関係を調べています。

洋中深層の生物多様性の維持に貢献していることが知られてきた。しかし、分類文献の散在や、実験環境下での長期飼育の難しさから、クラゲノミミ類の生態学的知見や群集構造理解は未だ不十分である。そこで、クラゲノミミ類の群集構造および群集構造に影響を与える環境要因を明らかにするために、黒瀬海穴にて浮遊生物の定量採集を行った。黒瀬海穴は、八丈島沖に位置するカルデラ地形で、海

スピーチをする安井医学奨学生 和田安代さん



近年、我が国でも生物多様性国家戦略が策定されるなど、いまや「生物多様性の保全」は、国家を挙げて取り組むべき課題である。今、我々は何をすべきなのか。しっかりと現状把握と、それに基づく将来の変動予測、そして考え行動すること。これらを科学的な根拠のもとに働きかけてゆける、そんな人間を目指したい。

俳句の基礎情報学的分析

東京大学大学院 大井 奈美

私は、システム論の観点から認知過程とコミュニケーションについて考察する基礎情報学を専攻しています。基礎情報学を芸術分野における認知過程に活用する研究として、修士論文では特に俳句の創作・解釈過程を取り上げました。

俳句を選んだ理由は二つあります。まず、言語使用や社会的慣習に基づく季語を用いることからわかるように、創作・解釈は理性的な言語操作・理解である一方で、俳句の簡潔な定型が、俳句の創作と解釈に理性中心の

穴内部は深層水のほとんどなく、外部よりも水温や塩分が均一で高いなどの特徴がみられる。そのため、内部と外部との比較により、隣接した異なる水塊間での浮遊生物の分布の違いを明らかにすることができると考えられる。

日本古代における女官と律令国家機構の形成

専修大学大学院 伊集院 葉子

日本古代における女官研究が私の博士論文のテーマである。わが国の律令女官制度は、日中間で社会の発展段階が異なり、女性の地位に差があるにもかかわらず、中国流の律令を継承したため矛盾を抱え込めたこととなった。中国律令の法旨は女性を国家機構の外に置くものであったが、現実のわが国古代社会は、女帝・太后に加え、「氏(ウヂ)」を基盤とした女性の政治参加が実現されていたからである。八世紀には女性の政治参加が顕著であり、支配層においてそれ、女性天皇の終息や貴族

私には、新聞記者として主に国会・政党と中央官庁を担当してきたが、それらの機関で政策決定に女性がかかわる機会が、まだまだ少ないのを見てきた。その根本原因までたどるとすれば、古代まで遡り、女性が国家意識決定の場から排除された経過を明らかにせざるを得ない。そのとば口と置いて、古代女官研究を位置づけ、とりくみたいと考えている。

腸管におけるビタミンA代謝機構の解明

慶應義塾大学大学院 和田 安代

私の研究分野は、難治性疾患である炎症性腸疾患(炎症性腸病)の発症や進展に大きく関与していると考えられている新規治療法の開発と病態の解明である。IBDの発症機序は明らかにされて

産生されるIL-12やIL-23といった炎症性サイトカインが報告されており、私はこれを抑制するレチノイン酸(retinoic acid; RA)がDCsの分化に影響を及ぼすことでIL-12/23の産生を抑制する、IL-12/23の産生を抑制することによって、RAが腸炎モデルマウスにおいて、RAは腸炎抑制効果を示し、腸粘膜のIL-12/23の産生を抑制していたことから、RAがIBDの新たな治療の一助となる可能性が示唆された。現在は、その機序の詳細な検討と、さら

弁護士を目指して

早稲田大学大学院 平塚 恵里子

私は将来、社会的に弱い立場に置かれている人々のために親身になって働き、その中で法律相談や弁護士になりたいたいと思ってきました。ロースクールに進学して「理論と実務の架け橋」ということを意識して学修をしています。六法はもちろん、弁護士倫理や、法律相談のロールプレイといった実務的な科目も学んでいます。

私の専攻分野は、難治性疾患である炎症性腸疾患(炎症性腸病)の発症や進展に大きく関与していると考えられている新規治療法の開発と病態の解明である。IBDの発症機序は明らかにされて

障害があることから、特別支援教育に関心があり、講義はもちろん、サークルやゼミで障害児・者と接し、また、知的障害児施設で実習を行い、机上では学ぶことのできない貴重な体験をした。また、サークルの部長として、ボランティア先の養護学校や障害者施設等との連絡調整も行っている。その中で、仲間を信頼することの大切さ、活動に対する責任等について学んだ。また、実習の中で、皆と同じように取り組むのではなく、障害があるからこそ、取り組むべきこと、取り組むべきことについて考えた。

また、精神保健福祉に関心があり、社会福祉士の国家試験合格を目指すと同時に、精神保健

私の今の目標と将来の展望

神戸女子大学 池澤 李奈

私の専攻分野は、難治性疾患である炎症性腸疾患(炎症性腸病)の発症や進展に大きく関与していると考えられている新規治療法の開発と病態の解明である。IBDの発症機序は明らかにされて

